

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ずA3片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名：秋田大学教職大学院 共催：教育文化学部附属教職高度化センター、秋田大学教職課程・キャリア支援センター 後援：秋田県教育委員会、秋田市教育委員会
コラボ研修プログラム	事業名：令和5年度あきたの教師力高度化フォーラム テーマ 探究する子どもを育てるために必要なこと -「学力」のその先へ-
支援事業報告書	研修等名：【NITS・秋田大学教職大学院コラボ研修】 令和5年度あきたの教師力高度化フォーラム テーマ 探究する子どもを育てるために必要なこと -「学力」のその先へ-
	開催日時：令和6年2月16日～17日 開催場所：秋田大学（秋田県秋田市手形学園町1-1） 参加人数（総数）と参加者の属性：16日142人（県内32人、県外0人、学内110人） 17日124人（県内59人、県外12人、学内53人）

内容：

〈講演〉大阪大学大学院人間科学研究科 教授 志水宏吉

〈シンポジウム〉シンポジスト：秋田県教育庁 教育次長 和田渉

由利本荘市立鶴舞小学校 教育専門監 佐々木真智子

秋田大学大学院教育学研究科 准教授 細川和仁

コメンテーター：志水宏吉、コーディネーター：細川和仁

- 講演では、大阪大学大学院の志水宏吉教授から、「ポストコロナの今、学力と公教育を考える」と題し、いまの社会をどう見るか、これからの社会に必要な学力とは何か、学力をどう見るか、どのような公教育が求められるか、などについて、ご自身の見識に基づき、ペアレントクラシー、アミタリアンなどのキーワードの説明をいただいた。特に学校教育に求められるものが、認知能力である「たしかな学力」と、非認知能力である「豊かな社会性」であり、「たしかな学力」があると「好きなこと」ができ、「豊かな社会性」があると「好きなひと」ができる、「好きなひとと好きなことができる」ことが幸せであり、「たしかな学力」と「豊かな社会性」を獲得させ、子どもたちを幸せにすることこそが学校の役割である、というお話であった。
- シンポジウムでは、志水先生の講演をもとに、子どもに探究する力が必要なのか、「探究する子ども」とはどういう子どもか、秋田の探究型授業が充実しているといわれるのにさらに何が必要か、「学力のその先へ」とはどういうことなのか、などについてシンポジストがそれぞれの考えを述べ、協議が進められた。
- 和田教育次長からは、現在の若手教員がすでに秋田の探究型授業で育ってきた世代であり、彼らにとっては探究型授業が当たり前になっているというお話を交え、各種データをもとに、県内の教育状況について教育行政の立場から説明があった。
- 佐々木教育専門監からは、コロナ禍の休校明け、久しぶりの登校時に子どもが「みんなで勉強すると楽しい!」と発したことなど、授業中の具体的なエピソードを交え、教育専門監としての授業観についてお話があった。
- コメンテーターの志水先生から、学力のその先にあるものは何か、大人になったときの幸せ感とどうつながるか、「学力のその先へ」という気持ちを持つことが大切ではないか、というお話があった。

成果：

- アンケート結果（回答数37）からは、とても満足26人、どちらかという満足10人で、合わせると参加者の97.3%が高い評価をしている結果となった。
- 「講演、シンポジウムともこれからの時代に求められる教育の有り様が取り上げられ、大変勉強になりました。」「学力のその先にあるものは、子どもたちの幸せに尽きると思います。講演講師の「幸せ」「学校の役割」についての考え方に共感しました。」との声が寄せられた。

アイデアや工夫したこと：

- 大会テーマについて、昨年からの流れを継承しつつ、本県が独自に推し進めている「秋田の探究型授業」の発展にかかわる内容とするともに、研究者と実践者及び教育行政の担当者をシンポジストとしてお迎えすることで、理論と実践の往還にふさわしい討議ができるよう配慮した。
- 講演とシンポジウムは、遠隔地からの参加を考慮して、コロナ禍で一般化したオンライン参加と、通常の対面に

よる参加の2通りの参加方式を継続し、参加者の利便性に配慮した。

- ・ 院生の研究成果発表会の機会と講演・シンポジウムを合体した形式とすることで、大学院への興味・関心の高まりと、教育の現代的課題への対応研究の深まりに通じるよう企画運営を行った。

<写真・図など>



<講師：志水宏吉>



<シンポジスト：和田渉>



<シンポジスト：佐々木真智子>



<コーディネーター：細川和仁>



<シンポジウムの様子>



<会場の様子>

NITS・秋田大学教職大学院コラボ研修
令和の日本型学校教育の構築
「探究する子どもを育てるために必要なこと―『学力』のその先へ―」

第15回

あきたの 教師力 高度化 フォーラム

期日
令和6年 2月16日(金) 17日(土)

会場
秋田大学60周年記念ホール
教育文化学部3号館145教室 他

対象
全国の教職員・研究者・教育委員会指導主事・
研修員・教員志望学生・院生等

日程

1日 2月16日(金)

- 9:00 開場・受付(秋田大学60周年記念ホール前)
- 9:30 開会行事
- 9:50 秋田県総合教育センターとの連携による発表・
教職発展演習受講者(学部生)の発表
秋田県総合教育センター研修員の発表
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 研究中間発表(学部卒業生)
- 14:50 研究成果発表Ⅰ(学部卒業生)

2日 2月17日(土)

- 9:30 開場・受付
- 10:00 研究成果発表Ⅱ(現職教員院生)
- 12:45 昼食・休憩
- 13:45 講演
「ポストコロナの今、学力と公教育を考える」
| 講師 大船大大学院 人間科学部 教授 志水 宏吉
- 14:10 シンポジウム
令和の日本型学校教育の構築
「探究する子どもを育てるために必要なこと
―『学力』のその先へ―」
| シンポジスト 和田 渉
佐々木 真智子
細川 和仁(コーディネーター兼司会)
- 15:45 閉会

講演講師 志水 宏吉氏

※両日の変更がある場合には、本学教育文化学部HP(<https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>)に掲載します。【申込方法】詳細をご覧ください

【主催】秋田大学教職大学院
【共催】秋田大学教育文化学部教職発展高度化センター／
秋田大学教職課程キャリア支援センター
【後援】秋田県教育委員会／秋田市教育委員会

秋田大学教育文化学部総務担当
TEL 010-25502 秋田市手形字園町1-1
TEL 018-889-2409
お問合せ先 kyosou@jimu.akita-u.ac.jp

<パンフレット>